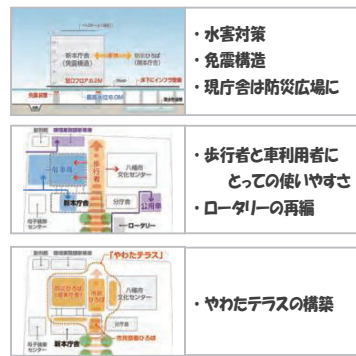


八幡市庁舎整備の基本方針

①安全・安心な庁舎	・防災拠点としての庁舎 ・早期機能復旧が可能な庁舎 ・環境負荷の抑制
②利便性の高い庁舎	・質の高い市民サービスの提供 ・わかりやすい庁舎 ・効率的な行政事務の実現
③市民に親しまれ 開かれた庁舎	・市のシンボルとしての “八幡らしさ”が感じられる庁舎 ・市民協働を促す開かれた庁舎 ・市民の交流を支える庁舎

計画案



八幡市新庁舎 市民ワークショップ

News Letter vol. 1

第1回市民ワークショップを開催しました



ありがとうございました

今回のワークショップは、初開催にもかかわらず、参加者の皆様には”これからの八幡市庁舎について語ろう”をメインテーマとし、様々なご意見を出して頂きました。八幡市庁舎を良くご存知の方が多く、多岐にわたったご意見は、新庁舎を整備する礎とさせて頂きます。次回ワークショップも宜しくお願い致します。

自治会、PTA、各種団体等からご参加いただいた皆様

八幡市自治連合会、八幡市PTA連絡協議会
八幡幼稚園PTA、八幡市環境市民ネット、八幡市工業会
八幡市自主防災推進協議会、(社)八幡市社会福祉協議会、八幡市商工会
八幡市消防団、八幡市女性団体連絡協議会、八幡市身体障害者団体連合会
八幡スマートウェルネスシティ推進協議会、(一社)八幡市体育協会
八幡市文化協会、防災ネットワークやわた、NPO法人八幡まちづくり協会
八幡市民生児童委員協議会、八幡市老人クラブ連合会、だんだんテラスの会



参加頂いた皆様と記念撮影

市民ワークショップ開催について

昭和53年に建設された八幡市庁舎の老朽化、耐震性能の不足等の問題を解決するとともに、庁舎の防災機能の強化と行政サービス機能の充実を図るために、八幡市新庁舎の建設を行うことにしました。それを受けてプロポーザル方式で設計者を選定し、現在その基本設計を進めています。

21世紀を迎えて、行政だけでなく、広い意味での市民がまちづくりに参画する「市民協働社会」が実現しつつあり、開かれた市庁舎の在り方が問われる時代となっています。現在設計を進めている新庁舎においても、「八幡テラス」(市民ひろば、防災ひろば、市民協働広場)をはじめ、さまざまな市民のための空間を用意しています。

そこで、市民の皆様とともに新庁舎の在り方を考えるために、「八幡市庁舎について語ろう」と題する市民ワークショップを2回開催することにしました。1回目は「現庁舎のいい所・悪い所」「八幡市庁舎の計画案について語ろう」、2回目は「市民に親しまれ、開かれた市庁舎の在り方」「八幡テラスをつくろう!」をテーマとしたグループワークを行い、そこで出された意見や提案を新庁舎の設計に反映していく予定です。

“これからの八幡市庁舎について語ろう”をメインテーマにし、2018年10月14日(日)に八幡市文化センター第3会議室にて開催しました。八幡市自治連合会をはじめ、各種団体等からの推薦と一般公募を合わせて32名の皆様にご参加頂きました。

第1回目は、以下の2つをテーマに行いました。

グループワーク1 現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

グループワーク2 八幡市庁舎の計画案について語ろう

市長のあいさつ

市民ワークショップ開会にあたり、堀口市長から整備事業のこれまでの経緯、防災拠点としての庁舎、市民が集う場としての庁舎への思いをお話いただきました。



門内教授のあいさつ

八幡市新庁舎整備アドバイザーであり、今回のメインファシリテーターである門内教授から、市民ワークショップの意義や進め方を、近年の動向や将来的なビジョン、他事例を織り交ぜながら説明いただきました。



門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長 / 京都大学名誉教授
八幡市新庁舎整備アドバイザー／プロポーザル評価委員会・委員長

ニュースレターについての
問い合わせ先

八幡市役所 総務部 総務課 庁舎整備担当まで

TEL : 075-983-1111 (代表)

075-983-2932 (直通)

共催：株式会社 山下設計 関西支社

ワークショップの流れ

事業概要の説明

八幡市総務課 山口氏から、これまでの経緯、基本方針、今後のスケジュールなどを説明しました

基本方針

- ①安心・安全な庁舎
- ②利便性の高い庁舎
- ③市民に親しまれ、開かれた庁舎



グループワーク1

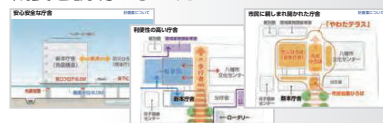
現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

今の八幡市庁舎の写真を参考に、皆さんが常日頃思っている事を挙げてもらいました



計画案の説明

山下設計 鷹簀氏から新庁舎案についての概要を説明しました



グループワーク2

八幡市庁舎の計画案について語ろう

計画案について思ったこと、気づいたこと、こうして欲しいことなどを自由に挙げてもらいました

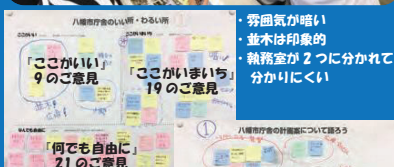


まとめ

門内教授から今回のWSを総括してもらいました

5つのグループに分かれ、様々なご意見をだして発表してもらいました

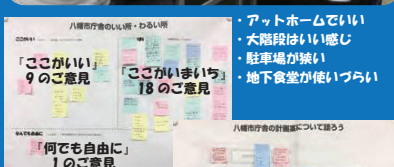
グループ①



- ・ロータリーは広く
- ・西日を考慮して
- ・液状化が心配
- ・レストラン、展望

29のご意見

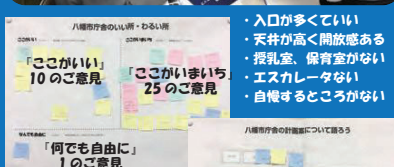
グループ②



- ・総合受付の充実を
- ・市民協働ひろば重要
- ・各広場をつなげて

29のご意見

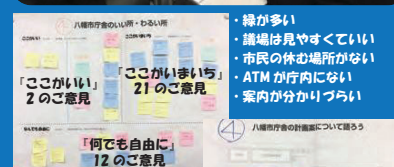
グループ③



- ・フリースペース、Wi-Fi
- ・北側の道路が渋滞しそう
- ・屋上にビアガーデン
- ・もっとアートを

23のご意見

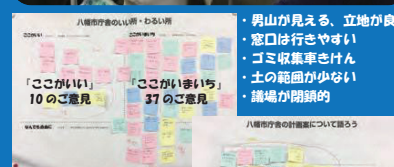
グループ④



- ・2階がメインとなるので
- ・安心した
- ・屋上利用を検討して
- ・観光案内、物産品など

16のご意見

グループ⑤



- ・雨天時に利用できる広場に
- ・高低差のある広場は
- ・使いやすい
- ・緑が少ない
- ・バリアフリーを考えて

30のご意見

主な意見 現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

「ここがいい」

- くすのき（緑）があるのはホッとする
- 市民広場があるのは良い
- 文化センター、母子健康センター、銀行などが近いのが良い
- 庁舎入口が複数あって入りやすい
- ワンフロアにぐーっと職員さんが働いていて距離が近くていい

「ここがまいち」

- 西側前面道路から庁舎に入りにくい
- 駐車場の狭い・わかりにくい
- 雰囲気が悪い
- 食堂が地下で暗い
- エスカレーターがない
- 市役所内にくつろぎの空間がない
- 八幡市を紹介するものがない
- 水害に対する備えがない

※頂いたご意見の一部を掲載しています

主な意見 八幡市庁舎の計画案について語ろう

市庁舎に欲しい

- レストラン・カフェ・コンビニ
- 老若男女のコミュニティスペース
- コンビニや名産品を売る所
- 八幡市を案内する場所
- 複数の出入口

こんな風にしたらいい

- 防災ひろばと文化センターを連携
- 市民ひろばでイベント（祭り）などができるように
- 日常的な居場所に
- 緑の公園に

ちょっと心配...

- ビロティが暗くならないか
- 一般車両の駐車場の入口が1カ所では混雑するのでは
- 市民が集まる広場に・魅力がある
- 将来を見据えた規模設定？

その他

- コミバスを市役所経由に
- 周辺整備に竹を利用して八幡らしさを
- 分庁舎をなくし新庁舎のエントランススペースに
- ロータリー、アプローチ重要

※頂いたご意見の一部を掲載しています

まとめ

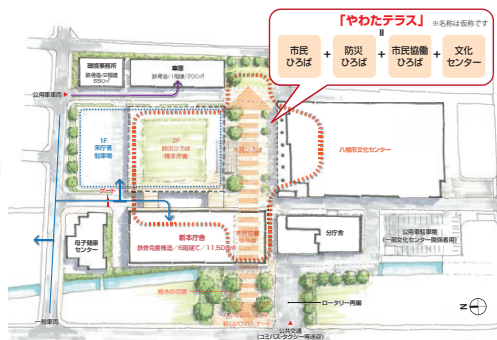
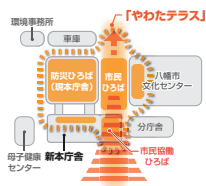
ワークショップ（WS）は集団による創造の優れた手段です。複数のグループに分かれて対話を重ねることで、限られた時間内に実に多くの意見や提案を得ることができるからです。今回のWSでは、防災拠点としての市庁舎の役割、市民広場や防災広場の在り方、イベントへの対応、緑の配置、市庁舎へのアクセス、駐車場やロータリーの在り方、カフェ・レストラン・コンビニの設置、外観のデザイン、工事中の問題への対応など、市庁舎に関わる重要なポイントを鋭く指摘して頂きました。設計者にはWSの成果をぜひ基本設計に活かして頂きたいと思ひます。



市民とともに未来へつなぐ「やわたテラス」をもつ庁舎

シビックセンターの中核拠点となる新庁舎は、日常的に人々が集まり滞在できる場＝「やわたテラス」を中心に、市民交流・賑わいを活性化します。さらに、あらゆる災害への万全な備えを施し、「シビックプライド（愛着と誇り）」によるまちづくりの起点となります。

八幡テラスは、「市民ひろば」と現本庁舎を活かした「防災ひろば」、新庁舎内の「市民協働ひろば」、さらには「文化センター」と一体となり構成される市民の憩いの場・賑わいある活動の場です。



第2回 市民ワークショップを開催しました



ありがとうございました

2回目のワークショップでは、“市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方”及び“八幡（やわた）テラスをつくろう！”をテーマとしてグループワークを行いました。皆様にはより具体的に新庁舎をイメージできるように、ムービーもご覧頂きながら、様々なご意見を頂きました。これまで2回開催させて頂いたワークショップの貴重なご意見を踏まえて参考に基本設計をまとめて参ります。

基本設計がまとまる来春の段階でニュースレターを発行し、設計内容をご報告させていただきます。

自治会、PTA、各種団体等からご参加いただいた皆様

八幡市自治連合会、八幡市 PTA 連絡協議会、みその保育園保護者会
八幡幼稚園 PTA、八幡市環境市民ネット、八幡市工業会
八幡市自主防災推進協議会、(社)八幡市社会福祉協議会、八幡市商工会
八幡市消防団、八幡市女性団体連絡協議会、八幡市身体障害者団体連合会
八幡スマートウェルネスシティ推進協議会、八幡市文化協会、
防災ネットワークやわた、NPO 法人八幡まちづくり協会
八幡市民生児童委員協議会、八幡市老人クラブ連合会、



参加頂いた皆様と記念撮影

市民との対話による市庁舎づくり

21 世紀を迎えて、市民がまちづくりに参画する時代が到来しています。まちづくりには、コミュニティセクター（市民）、民間セクター（企業）、公共セクター（行政）の力が不可欠であり、これら3つの力を上手く組み合わせることが街の未来を拓く鍵となります。それゆえ、広い意味での市民（企業、NPO などのボランティア組織などを含む）が自由に集うことができるパブリックスペースをつくるのが大切になります。

新庁舎の計画案では、そのようなスペース（市民ひろば・防災ひろば・市民協働ひろば+文化センター）を「八幡（やわた）テラス」と名付け、新しい街のシンボルとして位置づけています。

第2回ワークショップでは、①「市民に親しまれ、開かれた市庁舎」を目指して、シビックセンターとなる市庁舎のあり方を話し合っており、それを踏まえて、②新庁舎の核となる「八幡テラス」をつくり出すアイデアを出して頂きました。ここで出された意見や提案を新庁舎の設計に活かしていきたいと思います。

前回のワークショップに続き、2018 年 11 月 18 日（日）に第2回目のワークショップを八幡市文化センター展示室にて開催しました。八幡市自治連合会をはじめ、各種団体等からの推薦と一般公募を合わせて 30 名の皆様にご参加頂きました。

八幡市からのあいさつの後、門内教授から第1回目のワークショップを振り返って頂きました。つづいて、グループワークに入る前に、“市民との対話による市庁舎づくりについて”をテーマに、他事例の紹介とともにご説明頂きました。

第2回目のワークショップでは、八幡市全体と市庁舎の関係性を考える広い視点から、シビックセンターとしての市庁舎のあり方を考え、市民の出会いや交流の場となる「やわたテラス」を具体的にイメージしてつくってみるために、以下の2つをテーマとするグループワークを実施しました。

グループワーク1 市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方

グループワーク2 八幡テラスをつくろう！



メインファシリテーター 門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長
京都大学名誉教授
八幡市新庁舎整備アドバイザー
プロポーザル評価委員会・委員長

ワークショップの流れ

前回 WS の振り返り

前回 WS の主な意見を紹介



市民との対話による 市庁舎づくりについて

市民協働社会のための市庁舎づくりについて、他都市の事例を紹介



グループワーク1

市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方

地域資源を踏まえて、シビックセンターとしての市庁舎のあり方を考える



イメージしてみよう

やわたテラスの説明と新庁舎をよりイメージしてもらうため、計画案の動画を上映しました



グループワーク2

やわたテラスをつくらう！

グループワーク1を踏まえ、やわたテラスの具体的なつくり込みを行いました



まとめ

門内教授から今回のWSを総括してもらいました

前回と同じく、5つのグループに分かれ、様々なご意見をだして発表してもらいました

グループ①



- ・観光資源がたくさんある
- ・歴史ツアー、東高野街道
- ・本読会をもっとアピール
- ・お茶のまち八幡
- ・若い人が集まることが出来る八幡テラスを
- ・カフェ、レストランなど時間を過ごせるように
- ・ロータリーをしっかりと整備

グループ②



- ・飲食店、宿泊施設が少ない
- ・名所を巡るルートマップをつくらせて市役所を起点に
- ・長期滞在できるように
- ・市が中心になって企画を
- ・市民ひろばと防災ひろばを上手につなぐ仕組み
- ・時間を過ごすことができるように
- ・市民が自由に使える仕組み

グループ③



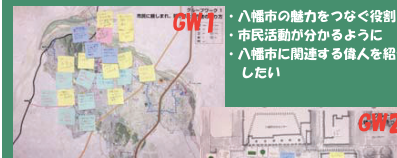
- ・やわた音頭の復活！
- ・名所が点在している市全体でまとめるのが難しい...
- ・地産の農産物を使ったカフェが市役所に出来たら
- ・公園のような使い方をしたい
- ・防災ひろばはウィークリーマルシェができるような仕組み
- ・FMステーションを

グループ④



- ・最低限でも市役所への交通手段を整えてほしい
- ・観光、イベントをシリーズ化
- ・ファミリー層が多いのでターゲッ
- ・エスカレーター、エレベーターがどこにあるかが重要
- ・イベントができるインフラをしっかりと整備しておく
- ・防災ひろばは芝生、屋根、WC

グループ⑤



- ・八幡市の魅力をつなぐ役割を
- ・市民活動が分かるように
- ・八幡市に関連する偉人を紹介したい
- ・市民ひろばに八幡市をアピールできる設えを
- ・緑を多く、防災ひろばは芝生
- ・分庁舎、車庫もなくていい

主な意見 市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方

八幡の観光資源を活かした観光ツアーを企画したら

FMステーションをやってみたら

市庁舎だけではなく八幡市の顔となる駅とうまく連携を

各所の朝市拠点となるような市庁舎がよい

コミュニティバスなど市庁舎への交通手段が不可欠

今あるサイクリングロードをもっと活かしたい

寺社仏閣との連携座禅の体験など外国人向けの対応できたら

市庁舎は八幡の情報発信の拠点であるべき各所にはサテライトを

主な意見 やわたテラスをつくらう！

- イベントとして使うひろばと芝生ひろばをつくらって様々な利用ができるように
- 展望ロビーやレストランなど市庁舎の中にも土日利用ができる機能を
- 公園のような市庁舎であってほしい
- 2階が窓口になるので、動線計画が重要！エスカレーターは内部に
- 1階に観光案内・情報発信を八幡市の魅力を演出して欲しい
- 防災ひろば1階の駐車場が丸見えなのはちょっと気持ちよくない

全グループで出たご意見

ここで過ごすための機能
カフェ・コンビニ・トイレ・屋根
緑を取り入れて
高木・低木・防災ひろばは芝生に
八幡の魅力発信拠点に
ギャラリー・観光案内

こんなご意見も

- 分庁舎をなんとかしたい...
- 広場の名前は募集してみたら？
- 八幡市の広報アプリをつくらって！
- 福祉会館など活動を共にする外郭団体を一緒に
- 文化センターと一緒に演出できれば

まとめ

今回のワークショップ（WS）では、「市民に親しまれ、開かれた市庁舎」を実現するために、八幡市の全域に視野を広げ、豊かなまちづくりの資源を発掘することを通して、「やわたテラス」のビジョンを描き出して頂きました。限られた時間に溢れるほど飛び出してくる地域資源に関する情報の豊かさに、市民力・地域力の大切さを改めて認識しています。設計者には、WSの成果を活かして、多くの人々が出会う「やわたテラス」を含む魅力的な八幡市庁舎を設計して頂きたいと思います。





八幡市新庁舎 市民ワークショップ

これからの八幡市庁舎について語ろう



ニュースレターについての問い合わせ先

八幡市役所 総務部 総務課 庁舎整備担当まで

TEL : 075-983-2932 (直通)

共催 : 株式会社 山下設計 関西支社

2019年3月発行

ありがとうございました

2回にわたるWSでの皆様からの貴重なご意見を検討し、ようやくカタチになって参りました。基本設計は、現在も進行中でございます。さらに、今後の実施設計によっては多少の変更がある可能性もございます。

市民の皆様に愛され利用して頂ける新庁舎に向けて今後も取り組んで参ります。

自治会、PTA、各種団体等からご参加いただいた皆様

八幡市自治連合会、八幡市PTA連絡協議会
みその保育園保護者会、八幡幼稚園PTA、
八幡市環境市民ネット、八幡市工業会
八幡市自主防災推進協議会、(社)八幡市社会福祉協議会、
八幡市商工会、八幡市消防団、八幡市女性団体連絡協議会、
八幡市身体障害者団体連合会、
八幡スマートウェルネスシティ推進協議会、
(一社)八幡市体育協会、八幡市文化協会、
防災ネットワークやわた、NPO法人八幡まちづくり協会
八幡市民生児童委員協議会、八幡市老人クラブ連合会、
だんだんテラスの会

ワークショップ概要

第1回 2018年10月14日 参加者：32名

グループワーク1

現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

グループワーク2

八幡市庁舎の計画案について語ろう

第2回 2018年11月18日 参加者：30名

グループワーク1

市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方

グループワーク2

八幡テラスをつくろう！

今後の工程について

2019年4月 基本設計

2019年5月
～2019年10月 実施設計・施工者選定

2019年10月
～2020年9月 実施設計

2020年10月
～2022年2月 新庁舎建設工事

2022年5月 新庁舎での業務開始予定

2022年7月
～2024年3月 その他整備

2024年4月 全整備事業完了予定

八幡市新庁舎 市民ワークショップ

News Letter vol. **3**

新庁舎整備の計画案がまとまりました

“これからの八幡市庁舎について語ろう”をメインテーマにし、計2回の市民ワークショップを開催させて頂きました。ワークショップでは、市庁舎のあり方についてや“八幡テラス”の具体的な使い方など、皆様とともに学び、考え、共有できたものと考えております。その際に皆様から頂いた様々なご意見を踏まえ、新庁舎の基本設計として概ねまとまって参りましたのでご報告いたします。

門内教授からのコメント

八幡市では、現庁舎の老朽化、耐震性能の不足等の問題を解決し、庁舎の防災機能の強化と行政サービス機能の充実を図るために、新庁舎の建設に向けて、プロポーザル方式で設計者を選定し、基本設計を進めて参りました。

新庁舎の整備は、①安全・安心な庁舎、②利便性の高い庁舎、③市民に親しまれ開かれた庁舎を基本方針として進めていますが、特に21世紀を迎えて、市民・企業・行政の協働によってまちづくりを推進する「市民協働社会」が姿を現しつつあることに留意し、市民交流の拠点となる新しい市庁舎のビジョンを実現することを目指しています。

そこで市民の皆様とともに、ワークショップを2回開催し、①現庁舎のいい所・悪い所、新庁舎の計画案について語り合い、②市民に親しまれ、開かれた市庁舎のあり方を考え、市民のための空間をデザインする試みを展開しました。基本設計のとりまとめにあたっては、いただいたアイデアをできるだけ組み込むように検討しましたので、その結果をお知らせします。

引き続き皆様との対話を積み重ねて、素晴らしい市庁舎が実現するよう力を尽くしていく所存です。

門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長

京都市大学名誉教授

八幡市新庁舎整備アドバイザー

プロポーザル評価委員会・委員長



ワークショップでの主なご意見

- ・多様な活用ができるひろば
- ・公園のようなひろば
- ・1階駐車場が丸見えは気持ちよくない
- ・緑を多く。芝生ひろば
- ・トイレが必要
- ・カフェやコンビニがほしい
- ・日差しや雨を遮る屋根がほしい

プロムナードからつづく『やわたテラス』の軸は『市民ひろば』です。市民がこれまで慣れ親しんだ『市民ひろば』から連続する『防災ひろば』は、一体となった市民の憩いの場になります。日常的に市民に親しまれ、利用される市民の公園のような「ひろば」であればこそ、災害等の緊急時に迅速かつ効果的に活用できる安全・安心な庁舎につながります。

市民ひろば・防災ひろば

防災ひろばにはウッドデッキや人工芝を利用して広々としたひろばを計画。



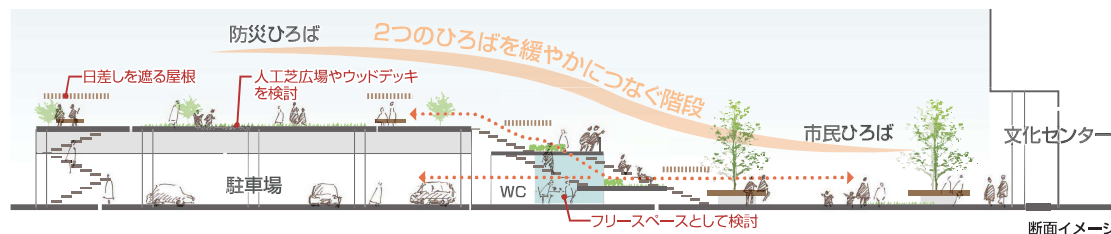
階段下のスペースを有効に利用したフリースペース。市庁舎とは独立した様々な活用が可能。



市民ひろばと防災ひろばをつなぐステップフロアと階段。ベンチとして、ステージとして、様々なイベントにも対応する市民の憩いの場へ。



※「防災ひろば」の名称は検討中です



駐車場

ワークショップでの主なご意見

- ・駐車場が狭い、わかりにくい
- ・西側府道からだけでは混雑するのは

- 防災ひろば 1階も含めたまとまりある駐車場とします。敷地内で引込む車路を確保し北側市道の混雑を緩和します
- 北側駐車場も再整備します。

1F エントランス

ワークショップでの主なご意見

- ・八幡の魅力をアピール
- ・エスカレーターは内部に欲しい

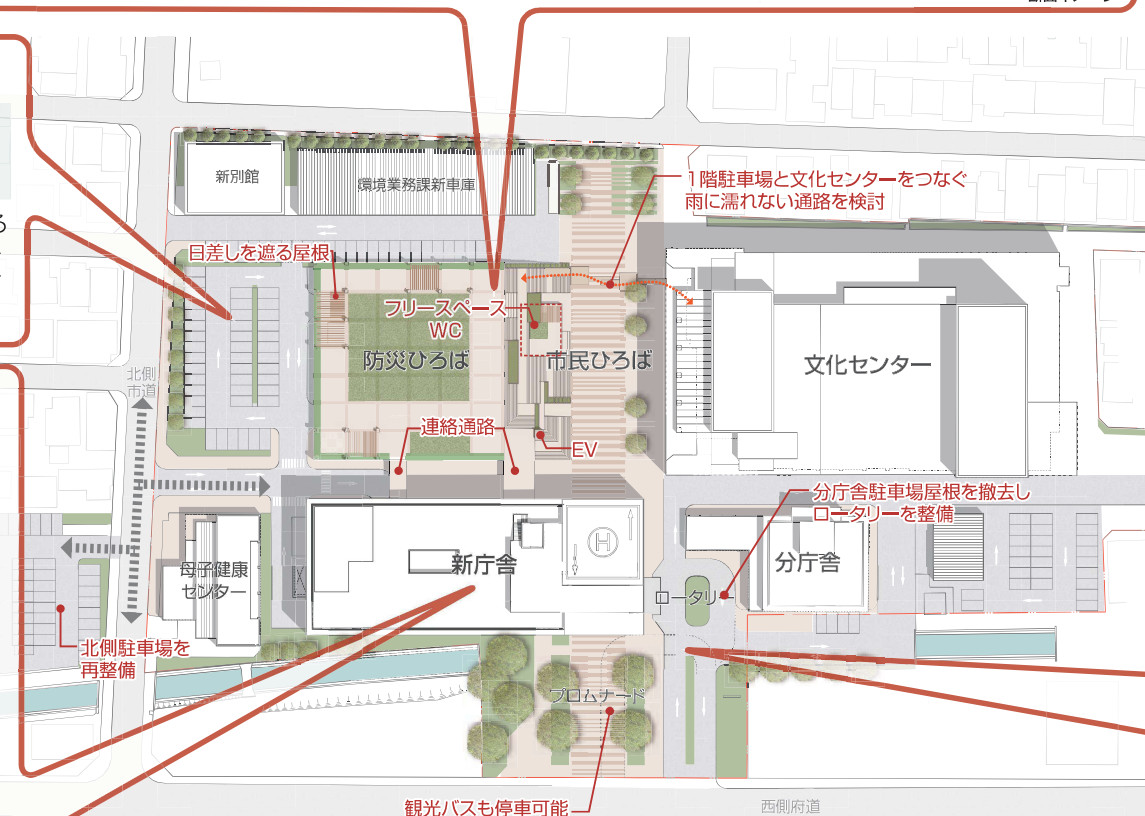
- 来庁者の利便性を考慮して、エントランスホール内にエスカレーターを設置します。
- 八幡市の情報発信やギャラリーなど、来庁された方が八幡市の魅力に触れることのできるスペースです。



ギャラリーとして



情報発信や観光案内



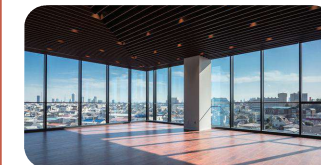
市民が憩い、活動を育む『やわたテラス』

市民協働ひろば（新庁舎）

ワークショップでの主なご意見

- ・展望ロビーやレストランなど、土日利用が出来るように
- ・老若男女が集えるコミュニティスペースがほしい
- ・市庁舎内にくつろげる空間がほしい

6階 議場の東側に市民ひろばに面した“市民ロビー”
議場の西側に男山を望む“展望ロビー”



4階 市民・職員がともに利用できる多目的会議スペース



3階と4階をつなぐ階段

3階 気軽に談話、軽食もとれるオープンスペース



デッキバルコニーを検討

プロムナード・ロータリー

ワークショップでの主なご意見

- ・分庁舎を何とかしたい…
- ・西側府道から車で出入りにくい
- ・ピロティが暗くならないか

分庁舎の屋根を撤去し、ロータリーを再整備します。歩行者空間となるプロムナードは、一時的に大型観光バスも停車可能な仕上げとします。



※写真はすべてイメージです
※計画内容については今後変更の可能性もあります

基本設計におけるイメージ



西側外観



市民ひろば

八幡市新庁舎 市民ワークショップ

News Letter vol. **4**

「やわたテラス」デザインワークショップを開催しました



ありがとうございました

今回のワークショップには、市民の皆様、市内外で店舗を営んでいる方々の他に、将来の「やわたテラス」の管理運営を担う市職員も参加させて頂きました。基本設計をもとに、空間の設えやそこで繰り広げられる活動やイベントなどに関する多様なご意見やアイデアをきいただくことができ、実現可能な「やわたテラス」の姿を垣間見ることができたように感じます。

これから新庁舎の実施設計と建設がスタートする予定ですが、関係者間の対話を積み重ねて、「やわたテラス」を中心とした八幡市庁舎全体の整備を進めて参ります。

ご参加いただいた皆様

八幡市商工会、NPO 法人八幡まちづくり協会、
だんだんテラスの会、カープスファミレやわた店、
コナミスポーツクラブ、世界はテマン、
デザートカフェ『Gorille（ゴリール）』、
関西大学、大阪芸術大学、公募市民、
八幡市役所職員



参加頂いた皆様と記念撮影

「やわたテラス」実現に向けて

基本設計が完了し、器としての「やわたテラス」（市民ひろば、防災ひろば、市民協働ひろば、及び文化センター）のカタチが見えはじめてきています。八幡市の活性化の核となり得る「やわたテラス」の実現には、市民の交流と活動を育むための施設整備（ハード面）は極めて重要です。

しかしそれだけではなく、「やわたテラス」が市民に永く親しまれ、利用され続けるようにするためには、行政の力に加えて、市民の力や企業の力を活用した施設の積極的な運用と適切な維持管理（ソフト面）が必要不可欠となります。

こうしたハード面とソフト面を充実させることによって、市民協働社会を推進する魅力ある「やわたテラス」の創出が可能となるのです。



ひろば全景イメージ（基本設計）

基本設計完了後の初めての市民ワークショップとして、「やわたテラス」のデザインをめぐるワークショップを 2019 年 10 月 5 日（土）に八幡市文化センター展示室にて開催しました。

現在日本各地で進んでいる市庁舎の建て替えにおいても、広場のデザインが大きなテーマとなっています。街の未来は、市民・企業・行政が力を合わせることで拓かれるものですが、そのような協働を支える広場の重要性がクローズアップされています。

八幡市でも「市民ひろば」、「防災ひろば」（仮称）、「市民協働ひろば」、「文化センター」を含む広大な空間を「やわたテラス」と呼び、多くの市民が集い、交流する場として整備します。

今回は、基本設計案を土台に、実際の活用を見据えたワークショップが行われ、ハードな施設の整備にとどまらず、ソフトな活動内容に踏み込んだ議論が繰り広げられました。

ワークショップには、市職員、継続してご参加頂いている市民や市内外の事業者、若い世代の大学生の皆様など、幅広いジャンルと年齢層の合計 32 名の皆様に参加されました。

以下の 2 つのテーマについてワークショップを行いました。

グループワーク 1 基本設計案について語ろう

グループワーク 2 やわたテラスをつくろう

メインファシリテーター 門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長
京都大学名誉教授
八幡市新庁舎整備アドバイザー
プロポーザル評価委員会・委員長



ニュースレターについての
問い合わせ先

八幡市役所 総務部 総務課 庁舎整備担当まで
TEL : 075-983-2932

共催：株式会社 山下設計 関西支社

ワークショップの流れ

事業概要の説明

八幡市総務課から、これまでの経緯や基本方針、今後のスケジュールなどを説明しました



基本設計概要の説明

山下設計から「やわたテラス」を中心に基本設計の概要を説明しました



グループワーク1

基本設計案について語ろう

基本設計のやわたテラス、ひろばについて感じたことを挙げてもらいました。

- 広場の広さについて
- 大階段について
- やわたテラスの緑について

参考事例の紹介

ひろばの使い方や設えなど様々な参考事例を紹介しました。



グループワーク2

やわたテラスをつくろう

各グループごとに魅力的なひろばをつくってもらいました。



まとめ

門内教授から今回のWSを総括してもらいました

6つのグループに分かれ、様々なご意見をだして発表してもらいました！

グループ①



- ・市民ひろばを舞台にした客席利用
- ・遊具や健康器具を置いてみては
- ・誰が管理するの？



グループ②



- ・スロープを設置して欲しい
- ・広場は何も置かない方が便利では？
- ・季節を感じる植栽、細もいいのでは

- ・影になる場所をつくる
- ・ベンチを多めに作りたい
- ・広い芝生が良い



グループ③



- ・小さな居場所を、安心感
- ・大階段のつくり方が気になる
- ・飲食店がないと人が来ないのでは？

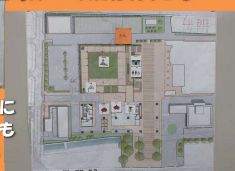
- ・原っぱのような芝生がいい
- ・防災勉強室・展示を新庁舎で
- ・ひろばには仮設のベンチやテントを



グループ④



- ・子どもが安心して遊べる空間に
- ・照明デザイン、ライトアップも
- ・半屋外空間をつくってほしい



グループ⑤



- ・大階段にも屋根があると良い
- ・夜も使える多目的室に
- ・学生目線も 食べる場、しゃべる場



グループ⑥



- ・大階段に本当に座るの？
- ・日影になる仕掛けがほしい
- ・日常的に利用できる公園として良い



主なご意見

非常に多くのご意見を頂きました。その中でも特に多かった意見やおもしろい意見をピックアップしてみます。

多かったご意見

- ・芝生ひろばが良い
- ・日差しを避ける屋根や木陰をつくる工夫を
- ・大階段だけではなくスロープも
- ・イベントに対応できる設備を常設
- ・人が日常的に来れるカフェやコンビニなど
- ・子どもが遊べる場所に

ユニークなご意見

- ・八幡市で広場づくり課をつくっては？
- ・ボルダリング！（2つのグループで）
- ・滑り台（3つのグループで）
- ・健康に関わるひろばづくり
- ・地下スペースの活用を
- ・各広場の名前をもっと親しまれる名前に

まとめ

今回のワークショップは、「やわたテラス」を活用する市民の皆様はむろんのこと、その運用の担い手になる方々にも参加していただきたいと考え、色々な組織や団体にお声がけをすると共に、自由に参加していただける形にしました。その結果、市民の皆様、市職員や八幡市に関心を抱く大学生などから多くの新鮮なご意見をいただきました。得られた様々なアイデアは、「やわたテラス」づくりに反映していきたいと思いをします。

ワークショップは出会いの場です。こうした八幡市新庁舎づくりの市民ワークショップを契機として、市民の間にコミュニケーションの輪が広がり、その中から「やわたテラス」の運用や管理の担い手が育っていくことを期待しています。

